

生態園観察マップ

行ってみよう見つけてみよう

夏編

<> はおもな地点をあらわしています。

季節のできごと ・ 圃に野菜植物園をつきました。近くによって花や実を見てみましょう。<A>
 オクラ、スッキーニ、ラッカセイは特にきれいな花を咲かせます。
 かぶと虫の繁殖期間中です。採らないで観察してみましょう。<園全体>



ジャノヒゲ

花の色：薄いピンク



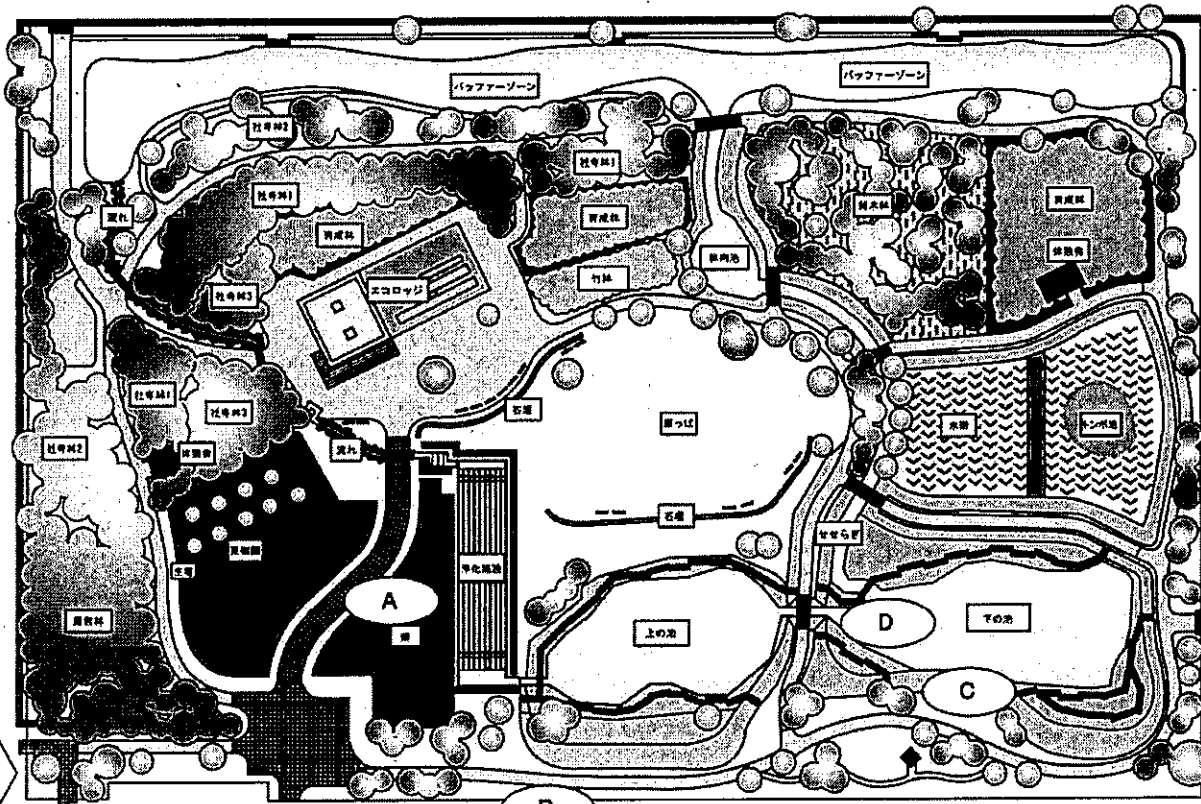
*ヒシ <D>

花の色：白



*ブツレア

花の色：紫



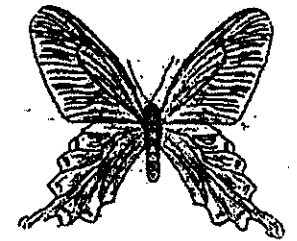
展望室

* 印は、裏に説明があります。

読んで参考にして下さい。

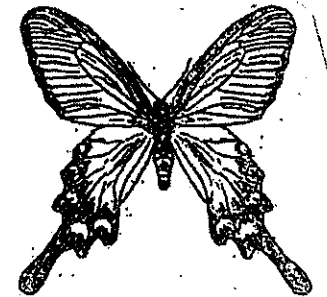
*ウマノスズクサ <C>

花の色：黄緑色(外側)
 紫色(内側)



*ジャコウアゲハ(オス・表)

地色は黒色でピロード状のつやがある



*ジャコウアゲハ(メス・表)

黄色がかった紫色の紋の弱

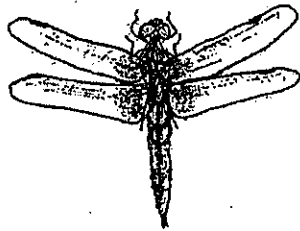
～生態園にはここに紹介した植物や、昆虫以外にも多く生息しています。

ぜひ探してみてください。～

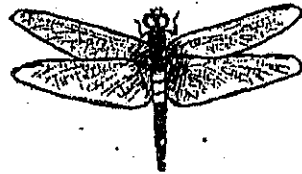
ショウジョウトンボ
コシアキトンボ
チョウトンボ

しばらくの間、バッファゾーンはトンボの楽園です。
ショウジョウトンボは、胸や腹の鮮やかな赤色が特徴です。

羽のつけ根も赤みをおびています。特にオスは鮮やかな赤色をしています。
コシアキトンボは、黒い体の中で、腹の部分だけが白く「空いている」ように見えます。
チョウトンボは、まっ黒な体と幅広い黒い羽が特徴です。



ショウジョウトンボ



コシアキトンボ



チョウトンボ

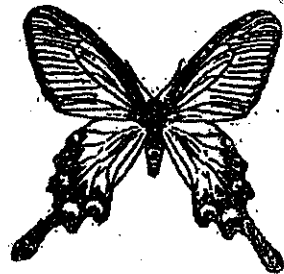
ウマノスズクサ
と
ジャコウアゲハ

バッファ池や、下の池の横にラッパ状の不忠実な形をした花が咲いて
います。ウマノスズクサといい、花が馬の首にかける鈴に似ていることから、

この名前が付いたという説があります。葉はジャコウアゲハの幼虫の食草です。

ウマノスズクサには有毒成分があり、ジャコウアゲハは幼虫時代にウマノスズクサの葉を食べて、
体内に毒を蓄積します。そして、毒のある蝶として、鳥などに食べられるのを防いでいます。

ジャコウアゲハは、夏の季節に園内をゆるやかに低く飛んでいます。捕まえるとジャコウのような
香りを出すことから、この名前が付いたとされています。



ヒシ



下の池の水面にハスやヒシの葉が広がっています。ヒシはよく見ると小さな白い花が咲いています。ヒシの葉の形から菱形という言葉ができたと言われています。ヒシが水に浮くのは、葉柄(葉の一部で、葉身を茎や枝につないでいる細い柄の部分)の一部にふくれているところがあり、浮き袋の役目をしているからです。ヒシのように葉が水面に浮かぶものを浮葉植物と言います。また、ハスのように水底の下から生えていて、葉は上に出ているものを抽水植物と言います。

フットレア

紫色の花の脣を四方に伸ばしているのは、フットレアです。別名「バタフライ・フッシュ(蝶の茂み)」と
いいます。甘い香りと蜜が、蝶を引きつけます。

